




NPO法人ETIC. 年間報告書  **ETIC.**
Entrepreneurial Training
for Innovative Communities

ETIC. Annual Report 2008-2009

フロンティアを切り開いてきたベンチャー経営者と
ソーシャルビジネスを創造する

イノベーション・グラント

イノベーション・グラントとは、次世代の社会起業家が、フロンティアを切り拓いてきたベンチャー経営者とともに、新たな社会イノベーションを仕掛ける創発プラットフォームです。フロンティアを切り拓いてきたベンチャー経営者が、各社のビジネスインフラやネットワーク・資金などを持ち寄り、社会の現場の課題・ニーズに対峙しつつ挑む若き社会起業家たちと繋がることで、この場から新たな協働事業・プロジェクト等が生み出されています。

2008年度メンバー最終報告会開催（2009年6月1日）

07年4月からの支援期間を通し、どのように事業が進み、連携が生み出されたかを発表。経営者にアドバイスを頂きました。

■ 門田瑠衣子 氏 / エイズ孤児支援NGO・PLAS

ケニアのエイズ孤児問題を解決

2008年度は、特に組織運営の見直しに力を入れた。慢性的な人材不足を解消することによって、現地事業の促進と組織の足固め、国内事業の促進ができた。今後は母子感染予防事業を実施する地域リーダーを育成するほか、他国に広めていきたい。1年間のグラントを通じて、絶対にやるぞ！という気持ちから成長につながりました。

■ 照屋朋子 氏 / NGOゆいまーるハミングバース

モンゴルの孤児院「太陽の子ども達」の支援

高野社長のアドバイスから気づきを得て、コンサート事業に成功。現時点ではコンサート事業を収益化することが目標。2009年度はコンサートのほか、孤児院卒業生5人への奨学金支援、日本事務所開設、730万円の資金調達をする予定。グラントで、自分の人生だけでなく、団体の人生が変わりました。

■ 橋爪謙一郎 氏 / ジーエスアイ株式会社

ご遺族の死別の悲しみを支えるグリーフサポート

スリープロの会場提供によるセミナーの開催、研修カリキュラムの構築、研修受注などを実施。本出版により葬儀業界以外との取り組みを増やすことが目標の実現に不可欠であると明確になる。今後はエンパーマーの教育から自社事業の成長また一般消費への普及にシフト予定。また複数地域に広めることや、パートナー企業への個別提案も考えている。

■ 西辻一真 氏 / 株式会社マイファーム

休耕地（農地）を貸し農園（市民農園）とし、自産自消の提案

1年間で、八王子、旅行会社、幼稚園や小学校、大学、ハウスメーカー、スーパーなどと連携。一年以上は継続してくれるお客様が集まり、みんなが喜ぶシステムだと自負できるようになりました。また、自産自消のフレーズが世の中に広まったことは最高の出来事。2013年までには1000農園を達成したい。同期の支援団体の活動が励みになりました。

■ 松崎英吾 氏 / 日本視覚障害者サッカー協会

ブラインドサッカーの継続的展開

協会が障害者の出向受け入れを行い、マンパワー不足の解消になった。企業にとっても障害者雇用率の充足につながったことが発見された。今後もこのモデルの水平展開していきたい。他に、チャリティ・フットサル事業のテストを実施。グラントに参加をして限定的な世界だけでなく、この場の他の仲間には負けたくないという気持ちが生まれ、世界が広がった。



プラットフォームのアクティビティ（2008年度）

経営支援・顧客第一号として参画

マイファーム × スリープログループ株式会社

既存ビジネスの価値の再定義・プロセスの再構築を得意とするスリープログループの高野研社長がメンターとして経営戦略策定支援を行なう。当初のプランの展開シナリオをブラッシュアップし生まれた、企業向け貸し農園事業。スリープログループが第一号企業向け貸し農園として参画し「スリープロファーム」をスタート。



▲ブラインドサッカーの様子。不可能とされていた障害者スポーツ支援団体の事業化に対してスタートアップ資金と事業化支援を実施。

製品開発支援

エイズ孤児支援NGO・PLAS & ゆいまーるハミングバース × アイデアインターナショナル株式会社

モンゴルの孤児支援の「ゆいまーるハミングバース」、アフリカエイズ孤児支援の「PLAS」と、ライフスタイル商品を中心としたメーカーであり東京ミッドタウンや表参道ヒルズなどに直営店を持ち、ハンズ、ロフトなどに販路を持つアイデア社が連携し、新ブランド「YUENTO」においてオリジナル「マイ箸」の商品化。売り上げの一部を活動に充てるモデルを実現。

共同プログラム開発

ジーエスアイ（GSI） × 株式会社ピースマインド

グリーフサポート（死別の悲しみに対するサポート）のGSIが300以上の企業・組織に対し、従業員メンタルヘルス支援プログラムを運営するピースマインドと連携し、カウンセラー向けグリーフサポート研修プログラムを共同開発を行い試験的に実施。現在は、営業連携やコンテンツ開発に向けて模索中。

▼ パートナー企業経営者からは会の終わりにコメントを頂きました。

高野研氏 / スリープログループ株式会社 代表取締役社長

経済状態が厳しいからこそ、乗り越えた時に思うこと感じたこと自信になることがある。だから、長く続けて欲しい。我々も14年目になるが、厳しいときはあった。いろんな方に意見をもらい、怒られ、実行して、続けてきた。それを体感して欲しい。

橋本雅治氏 / 株式会社アイデアインターナショナル 代表取締役社長

みなさんが行っている事業は社会貢献だから、同じコトをやっている人たちは同志的存在。競合はあまり気にせず、わが道をいき、自分がやるべきことに専念して欲しい。1年前と比べれば地に足についてきている。今後も応援させてほしい。

荻原国啓氏 / 株式会社ピースマインド 代表取締役社長

業種業態は異なるが、課題は共通していると1年間で知ったのでは。また、来年度メンバーも今期のメンバーのようにライバルや同志になる。大事にして欲しい。この1年の足がかりは今年も続くからそれを大事に飛躍して欲しい。

次世代を拓くソーシャルベンチャーコミュニティ NEC社会起業塾



2002年よりスタートし、7期目を迎える社会起業家支援プログラムで「NEC社会起業塾」。2008年度の今期も4名の起業家たちの事業のスタートアップ期を支援しました。2009年からは横浜市もスポンサーに加わり、社会起業家支援の輪を広げていきます！

第7期 メンバー紹介



川添 高志 氏 / ケアプロ株式会社 代表取締役

ワンコイン血液検査事業

日本初のワンコイン健診ショップを展開。1分500円で血糖値や総コレステロール、中性脂肪等を検査。忙しい主婦や会社員、フリーターに対してサービスを提供する。10月には中野に店舗を立ち上げ、若者に対するアプローチを開始する。



富川 典子 氏 / undo3 代表

バングラデッシュでの国内フェアトレード事業（女性向け下着の生産および販売）

ファッション性の高い商品を通して、途上国の貧困問題を解消する。まずは、バングラデッシュで下着ブランドを開発すべく現地女性にニーズ調査を実施。現地工場のワーカーやNGOと連携しながら、生産コミュニティを作ります。



春山 佳久 氏 / 株式会社とれいす 代表取締役

ITを利用し、農家の営業支援をすることで、収入向上に貢献

農業×自然×ITで日本の農家の営業支援をする。2009年3月に農家の支援サイト『Veggie』を立ち上げ、地域で頑張る意識の高い農家を東ね、東京近郊のレストランに対する販路開拓支援を計画し、



浅井雄一郎 氏 / オリザ合同会社 代表

高収益アグリビジネスモデルの開発、提供

「農業界を変革する」という志のもと、新しいアグリビジネスのモデルを開発。第一弾として「うま野菜」の展開を開始した。また、月1回開催の「アグリビジネス研究会」では、全国から意識の高い若手農業経営者が集結。

OBOGたちの活躍

- プラスリジョンがオニオンキャラメリゼをベースとしたカレーをNEC食堂にて販売するほか、東京でも販売を開始。
- フローレンスの病児保育サービスが23区に拡大
- コトバノアトリエが中退予防研究所を設立
- 宮治豚の宮治勇輔さんが農家のこせがねネットワークを設立
- カタリバの今村久美さんが日経ウーマンオブザイヤーキャリアアクリエイト部門に受賞
- フローレンス・TRYWARPがソーシャルビジネス55選に選ばれた
- 楽患ナースが「ナース・オブ・ザ・イヤー」を実施
- イミオがスポーツカフェ&バー「Football Cafe SFIDA」をOPEN
- かものはしプロジェクトがソトニコム地区に新しいコミュニティファクトリーを完成

オフィシャルスポンサー



日本電気株式会社 (NEC)

地域の共感を得て、地域に愛されるビジネスへ 東海若手起業塾



地域からの共感を獲得し、真に必要とされる起業家へと成長していくことを応援するプログラム「東海若手起業塾」は、2008年5月から9ヶ月間にわたり、5組の東海地域の起業家を支援しました。このプログラムは、東海地域の3団体とともに協同で実施しています。

第1期 メンバー紹介



佐藤 真琴 氏 / ヘアサプライ ピア (静岡県浜松市)

がん患者などの脱毛期のかつら製作と専門美容室

浜松で展開する事業の水平展開を目指し参画。ピアのコアコンセプト「ピアが何屋か？」を明確にし、同事業をともに担いたい人材と出会うための広報展開をサポート。日経ウーマンオブザイヤー「キャリアアクリエイト部門」受賞、ソーシャルビジネス55選に選ばれた。



鈴木 誠 氏 / 三州フルーツ工房 (額田郡幸田町)

若手農家が増えるために稼げる農業を目指す！「完熟イチジク」の高付加価値商品化

生産したイチジクの20%を廃棄（熟し過ぎて市場に出せない）している現状の中、独自の手法で新しい加工品を開発。その商品改良からネーミング、テスト販売の実施、PR、営業計画の再構築を支援。



北村 周 氏 / NPO法人こうじびら山の家 (郡上市明宝)

過疎地で若者が暮らせる仕事づくり！郡上の山の家を活用したグリーンツーリズム事業

想定するターゲットを絞り、広報戦略を組み立てながら、山を家のコンセプトを尖らせる。最初の営業先は、東海若手起業塾のネットワークを使って実施。プラザー工業社員向けのツアーも09年度に実施が決定。



野田 考寿 氏、野田 有美薫 氏 / パティシエール ブリアン ブラン (愛知県一宮市)

地産地消、消費者と生産者をつなぐ安心・安全な洋菓子の製造販売

コミュニティの輪を広げる戦略を設計し、消費者と生産者を巻き込んだ交流会を開催。生産者の深い想いに、消費者が共感！地産地消というコンセプトに夫婦で自信を持つ。

※ 特別研究員：高野 拓郎 氏 / エスパル株式会社 (東海地区) 『ESを高め社員の不快を一掃する福利厚生支援』

2008年度 TOPICS

- 東海地域で活躍する3団体（NPO法人アスクネット、NPO法人起業支援ネット、NPO法人G-net）と連携して、実行委員会を組織化（09年度は新たにコミュニティ・ユース・バンクも実行委員会に参画）。地域の支援ネットワークを広げていきます！
- 総勢50名を超える東海地域、そして全国の起業家や専門家が若き起業家たちのチャレンジを応援！地方紙を中心に43件のメディア掲載にも成功。地域に共感の輪を広げていきます！
- プラザー工業株式会社の100周年事業としてスタートした東海若手起業塾は、09年度も継続が決定！第2期生たちがチャレンジを始めています。

主催・運営：
東海若手起業塾 実行委員会
NPO法人ETIC
NPO法人Ask-net
NPO法人G-net
NPO法人起業支援ネット

協賛：
プラザー工業株式会社

未来を創る当事者になれ！

ETIC. インターンシップ・プログラム

これまでに約2,200名の大学生に挑戦の機会を提供してきたアントレプレナーインターンシップ・プログラム(EIP)では、2008年度も71社146人のプロジェクトを実施しました。2008年度は、EIP卒業のOBOGたちの活躍もあり、また、プロフェッショナル・ゼミも増え、プログラム経験者コミュニティの広がりを感じています。

2008年度 プロジェクト紹介

株式会社インディ株式会社
谷集太さん 武蔵工業大学 4年

情報格差社会に挑むネットメディアの立ち上げ
出来上がったばかりのサイト「子育て応援サイトOYAIKU(おやいく)」 「子供とおでかけ情報サイトいこーよ事業」を事業としてどう成立させていくかを考えるプロジェクト。マーケティング&営業戦略の立案実行とコンテンツ充実のための企画開発を実施！

株式会社ジースタイルス
大野舞子さん 立命館アジア太平洋大学 4年

企画提案営業／新規採用サービスの企画・立案
新卒採用ニーズを持ったベンチャー企業に対して「逆求人フェスティバル」を中心とした採用サービスを企画提案。知名度が少ないために採用活動をして、求める人材がなかなか採れない企業を発掘。クライアントの事業の発展に貢献しました。

株式会社オークセール
黒岩千聖さん 高知大学 2年

仕入れ・卸・小売の各分野における売上貢献・変革推進
「フルクローズド入札制ショッピングサイト」における仕入れ・卸管理、顧客対応サポートと業務フローの定型化、効率化のための改善について、リーダーとして各部門と連携し推進。

株式会社ウィングル
斎藤卓真さん 京都大学 2年

企業コンサルティング&新規事業アシスタント
障害の有無に囚われない雇用環境づくりを目指し、社会のニーズに応えていく形で急成長する同社。コンサルティング、営業など、企業担当者として、提案から実施運用まで一貫して担当。創業期の主戦力として活躍！

2008年度 実績

■全体実績

受入先企業 (会員企業数)	71社 (後期：26社 / 前期：45社)
参加学生数	146人



■インターンシップ活用セミナー

大学授業内での開催	開催大学：延べ12大学 受講者数：5580人
ETIC. オフィスでの開催	開催数：75回 参加者数：701名

■その他イベント

インターンシップ・フェア	開催：6月14日、12月7日 受講者数：計224名
--------------	------------------------------

東京ベンチャー留学 ~起業家と過ごす3日間~



インターンシップにチャレンジしてみたい！経営者と話をしてビジネスとは何かを体感してみたい！学生で起業することってどんなこと？など、普段心には思っているけどなかなか知るチャンスのない、地方在住学生を対象としたプログラムです。

期	開催日時	人数
23期	6月21-22日	22名
24期	8月5日-7日	21名
25期	9月17-19日	37名
26期	12月12-14日	15名
27期	2月18日-21日	24名
28期	5月30日-31日	13名

EIP Support Program



インターン期間中のサポートプログラムとして3つのプログラムを実施しました。

8月23日	スタートダッシュを応援！『START LINE 2008』 (参加：49名)
11月22日	折り返し地点の確認ポイント！『GEAR CHANGE 2008』 (参加：40名)
3月21日	インターンの集大成を発表！『CROSS ROAD 2008』 (参加：107名)

EIPプロフェッショナルゼミを2008年度も開催！

2007年度に引き続き、ETIC. インターン卒業OBOG社会人によるプロフェッショナルゼミを開催しました。2007年度の4つのゼミに加え、2008年度はあらたに3つのゼミを開講しました。

	ゼミ名	講師	参加人数	開催日
1	マーケティングゼミ	株式会社ウィット R&D統括部長 天辰次郎氏	6人	9月2日/9月19日 / 10月16日 / 11月7日 / 11月28日 / 12月17日 / 1月23日
2	起業ゼミ	株式会社マジカルポケット 代表取締役 平田茂邦氏	5人	9月4日 / 10月2日 / 11月6日 / 12月11日 / 2月16日 / 3月30日
3	新規事業&営業ゼミ	株式会社ガイアックス プロモーションマーケティング部部长 秋沢崇夫氏	4人	9月3日 / 9月29日 / 10月28日 / 12月9日 / 2月10日 / 3月24日

OBOGたちの活躍

- 福倉光幸さんが、子どもの農業体験に関する仕事をしたいと考え、千葉県金谷で「かくれん房」という事業を立ち上げました。2008年3月に農作業体験ツアーを実施。(2007年インターン)
- 廣田良介さんは、デジサーチ・アンド・アドバタイジングでのインターン経験を生かし、実家「酒の山城や」のオンラインショップをOPEN！(2007年インターン)
- 川添高志さんがケアプロ株式会社を起業し、NEC社会起業塾08年メンバーとして選ばれる。現在では、会員企業としてインターンの受入を行っています。(2002年インターン)
- 一谷幸一さんがビヨンド株式会社を起業！(2003年インターン)
- EIP営業会議やモバイル戦略会議をOGOBの協力により開催！

社会を変えるリーダーを社会を変える現場で育てる 次世代社会イノベータープログラム

これから社会起業家を目指す学生および20代の若手社会人のためのプログラムとして、2009年から開始することになりました。本プログラムは、社会的課題に取り組むNPOや企業のプロジェクトにリーダー格のポジションで参画し、新規事業の立ち上げや事業課題の解決に8月から約半年間フルコミットします。実際に成果を挙げるプロセスの中でリーダーシップや起業家精神、実務スキルなどを獲得します。

受け入れ先プロジェクト紹介

1	アマタ株式会社	人と地域と自然を有機的につなげ、新ビジネスをプロデュース
2	NPO法人フローレンス	「病児保育問題」を解決するサービスを他地域展開
3	NPOコトバノアトリエ	夢を持つ若者向けのインキュベーションサービスの横展開
4	NPOカタリバ	高校生に対する新たなキャリア学習プログラムをプロデュース
5	日本中退予防研究所	若者の社会的弱者への転落を未然に防ぐ新事業を軌道に

プログラム期間スケジュール

スタート合宿	2009年8月7日(金)～8月8日(土)
▼	
現場でのプロジェクト実践	2009年8月11日(月)～10年1月末/2月
▼	
中間合宿	2009年11月19日(木)～11月20日(金)
▼	
修了合宿・報告会	2010年2月27日(土)～2月28日(日)
▼	
修了後の継続支援	随時



プロジェクトアドバイザー／プログラムパートナー紹介

■プロジェクトアドバイザー

東富彦氏／日本電気株式会社 (NEC) CSR推進本部社会貢献室長
 小城武彦氏／丸善株式会社 代表取締役社長
 熊野英介氏／アマタ株式会社 代表取締役社長
 藤田和芳氏／株式会社大地を守る会 代表取締役
 船木成記氏／株式会社博報堂 企画業務局企画開発部 ディレクター
 (現在は、内閣府政策企画調査官として出向中)
 ロザンヌ・ハガティ氏／コモン・グラウンド・コミュニティ代表

■プログラムパートナー

NEC 日本電気株式会社 (NEC) **AMITA** アミタ株式会社

弥生起業会計塾

弥生株式会社とともに、社会起業家を支援する「弥生起業会計塾」を開催しました。

開催日	テーマ	参加
1 08年11月28日(金)	収支計画の作り方／資金調達／日常会計処理のあり方	20名
2 09年01月29日(木)	財務会計／会計ソフト操作／会計事務所との付き合い方	15名
3 09年02月06日(金)	経営管理のための会計／数字の“裏”／利益計画と資金計画	12名



COP個別プロジェクト・経営相談会

社会的事業・プロジェクトを目指す人のための個別プロジェクト・経営相談会を実施しました。この相談会は、マーケティング会社やコンサルティングなどの企業に勤める社会人がボランティアで、メンターやアドバイザー、運営スタッフとして関わっています。3-4ヶ月1タームとして、期間中に計3回の相談会を実施します。

ターム	開催日	参加
1 COP個別プロジェクト・経営相談会 2期	6月7日／7月6日／9月6日	10名
2 COP個別プロジェクト・経営相談会 3期	11月16日／12月6日／2月7日	8名



地域応援ナビゲーターとして認定

中小企業や若手社会起業家の事業の立ち上げから事業化までを継続的に支援する「地域応援ナビゲーター」として、ETIC が認定されました。(財)東京都中小企業振興公社の東京都地域中小企業応援ファンド助成事業の申請サポートもを行い、2008年度はNPO法人フローレンスが選ばれました。応援ファンド助成事業の2009年度募集はWEBをご確認ください。

URL <http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/index.html>

夢を実現できる地域を創る

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

本事業は2004年から始動し、ベンチャー企業・地場産業・中山間地域・商店街・伝統工芸の町・離島など日本の様々な地域で、若者が地域の経営者と一緒に半年以上にわたって新規事業に取り組む「実践型」インターンシップによって、挑戦が続々と生まれ続ける地域づくりに取り組んでいます。このインターンシップにおいて、企業と学生をつないでいる全国のチャレンジ・プロデューサー（CP）がプロのコーディネーター役として、若者と経営者がWin-Winの関係になるプロジェクトを設計します。これらの全国のCPが互いに連携し合い、日本全国にチャレンジコミュニティ（挑戦の生態系）を創ることを目指した活動です。

第一回 地域若者チャレンジ大賞開催！

2007年度、日本全国で地域の課題でチャレンジした若者408人の中から代表8組が集まり、「第1回地域若者チャレンジ大賞」を開催しました。地域予選を経て選ばれた8名が、2007年度に参加した長期実践型のインターンシップの経験を発表し、最優秀賞と共感賞が決まりました！



受賞プロジェクト紹介

最優秀賞



吉村香野さん / 高知大学 人文学部 2年

地域ビジネスを発信する本づくり

インターン先は、犬小屋制作工房K。オーダーメイドの犬小屋をインターネットで注文を受け全国に売っている工房だ。インターン生のミッションは、犬小屋の作り方の本を企画・制作し、犬小屋制作工房Kの高品質な犬小屋を発信すること。本作りにむけて、まずは一つ一つの工程をイラストと説明文で記録。A5サイズの記録帳は100ページ近くになった。「ただの犬小屋と思っていたら、犬が快適に過ごせるような仕掛けがある。木は嶺北産の良質な木材だけ。『ド田舎』と言われる場所でも、アイデアと行動力があれば、全国に通用するビジネスができる」と吉村さんは語る。

会津桐下駄をネットブランディング

任せられた仕事は、会津の伝統工芸品である桐箆や桐下駄のネット販売。未経験のことばかりだったが、受入先の社長のサポートもあり、新サイトを完成させた。この間、クライアントや周りの人に沢山のヒアリングを重ね、初めは一方向的に聞くばかりだったが、次第に自分でまず理想の答えを考え、相手に確認しながら確信を持って進めるというやり方に変わっていった。結果、インターン前後で売上を比較すると10倍以上の伸びを記録。また、仕事を通じ、魅力ある商品や人に触れたことで会津に惚れ込み、そのままインターン先に就職。会津の魅力を発信していきつつ、全国から集まった大学の後輩が「この地域で働きたい！」と思えるような場所を作りたいと考えている。

共感賞



浅井涉さん / 会津大学 コンピュータ理工学部 4年

2008-2009 TOPICS

■ インターンシップ事例

都会の学生がインターン後の新たな挑戦の場として農村地域へ移住したり、田舎の商材を都市部で販売するなど、都市と農村とが連携した実績が出ています。

岡山県西粟倉村 ×大阪	西粟倉村の株式会社トビムシが販売する、無垢の木を使った子供用の遊具を関西圏で営業するインターンを実施。
東紀州×名古屋	G-netと東紀州観光まちづくり公社が連携。三重県尾鷲市の温泉施設や、地域再生を仕掛けるIT企業で、東海圏の学生がインターンを実施。
愛媛県宇和島市 ×愛媛県松山市	Eyesと宇和島市役所が連携し、大学生5人が宇和島市内の企業を回るツアーを企画。宇和島市の高校生47人も参画。

■ その他

- CP団体へ新卒社員が3名入社：Eyes、JAE、ルーツで学生コーディネーターとして活躍していた学生3名が、この春より、CP団体へ新卒で就職。CPの右腕として活躍中。
- 2月のギャザリングで、経済同友会の方々（株式会社リクルート 柏木社長ら3名）とCPとが地域における人材育成についての意見交換を行った。

■ 横浜社会起業応援プロジェクトを開始！

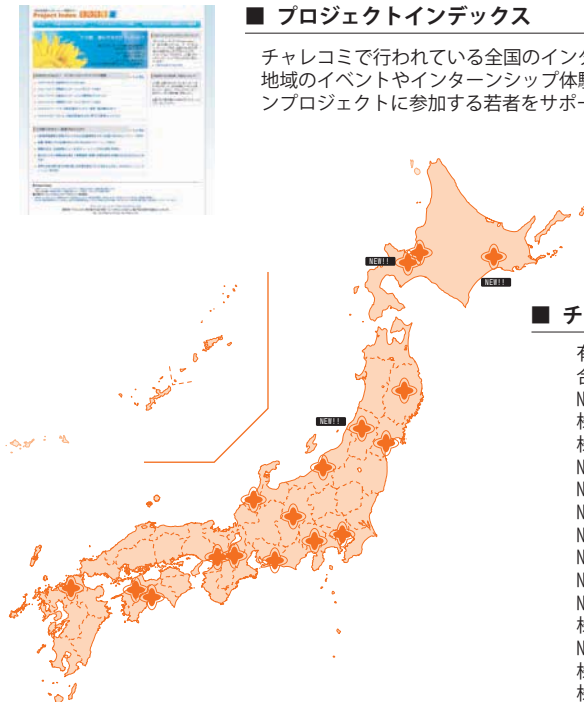
横浜にて社会起業家や社会起業家を目指す若者たちを支援する活動を開始しました。「OJT事業」「社会起業家支援事業」「ネットワーク化事業」を通して、社会に価値を提供する経営力を有した社会起業家の輩出を目指します。

■ プロジェクトインデックス

チャレコミで行われている全国のインターンシッププロジェクトの情報が検索できます。各地域のイベントやインターンシップ体験談なども掲載されています。地域を越えてインターンプロジェクトに参加する若者をサポートします。

URL

<http://www.project-index.jp/>



■ チャレンジプロデューサー団体（16団体）

- 有限会社JICC（岩見沢）
- 合資会社neeth（網走）
- NPOピオネイロ（札幌）
- 株式会社デュナミス（仙台）
- 株式会社明天（会津）
- NPOハーバランス（山形）
- NPO法人ヒーローズファーム（新潟）
- NPO法人ETIC.（東京）
- NPO法人G-net（岐阜）
- NPO法人東海道・吉原宿（静岡）
- NPO法人アスクネット（名古屋）
- NPO法人JAE（日本教育開発協会）（大阪）
- 株式会社出藍社（大阪）
- NPO法人Eyes（松山）
- 株式会社南の風社（高知）
- 株式会社ハウインターナショナル（飯塚）

ETIC.の目指すもの

ETIC.は、常に時代の課題を解決していく次世代のアントレプレナー育成を通じて、社会のイノベーションに貢献します。



ETIC.のアプローチ

「実践＝仕事」を通じて成長の機会を提供

「起業家をどうやって育成するのか？」
ETIC.のプログラムは、「実践」＝仕事を通じた成長、を重視しています。
参加者は、実際の仕事の現場で社会に価値を創造する経験をします。

「師匠（先人起業家）」や「仲間」との出会いをコーディネート

ETIC.では、社会を切り拓いてきている先輩起業家（ベンチャー起業家・社会起業家）達との仕事の機会づくりや、社会に共に価値を創造する仲間と出会える場を提供します。

人材育成の社会基盤を創造する

ETIC.は、日本において地域を問わず、次世代アントレプレナーが育成される社会の基盤づくりを推進します。

経営者ネットワーク（ソーシャル・ベンチャー・ネットワーク〔仮〕）

2009年4月、上記の戦略をより力強く推進していくために、自らもソーシャルイノベーションを仕掛け、そして次世代アントレプレナー育成にも積極的に関与いただく経営者ネットワーク（ソーシャル・ベンチャー・ネットワーク〔仮称〕）が発足しました。メンバーの皆様と共に、よりソーシャルイノベーションと次世代アントレプレナー育成を推進していきたいと思っております！

ご参画中の経営者の方々
(09年8月8日現在、50音順、計13名)

アレン・マイナー氏	サンブリッジ株式会社 創設者 / 元代表取締役
井関 貴博氏	株式会社ECホールディングス 代表取締役社長
大久保 和彦氏	株式会社ファクトリアル 取締役
荻原 国啓氏	株式会社ピースマインド 代表取締役社長
孫 泰蔵氏	アジアングループ株式会社 代表取締役
高野 研氏	スリープログループ株式会社 代表取締役社長
高山 雅行氏	株式会社アイレップ 代表取締役会長CEO
塚田 寛一氏	株式会社ヨセミテ 副社長
野坂 英吾氏	株式会社トレジャー・ファクトリー 代表取締役社長
橋本 雅治氏	株式会社イデアインターナショナル 代表取締役社長
浜口 隆則氏	株式会社ビジネスバンク 代表取締役
平石 郁生氏	株式会社ドリームビジョン 代表取締役社長
諸藤 周平氏	株式会社エス・エム・エス 代表取締役社長

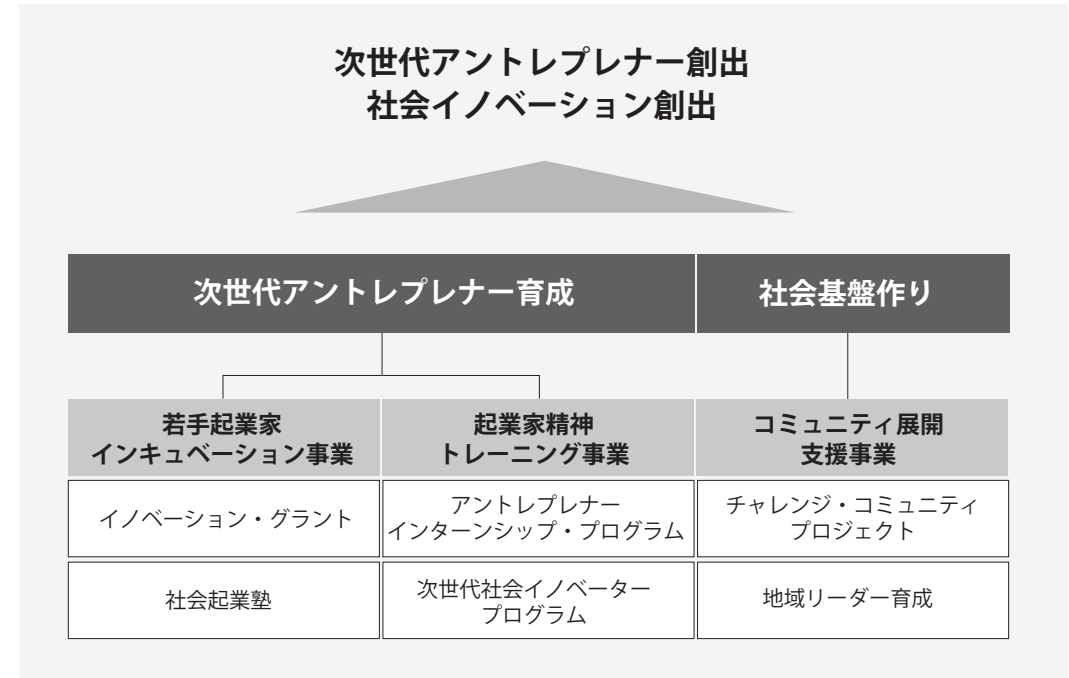
2008→2009

1993年の活動開始から約15年が経ち、2008年度、ETIC.はこれまでの活動をより有機的に社会に還元するために、事業や仕組みの再編集に取り組んできました。その一つの取り組みとして、ソーシャルイノベーションと次世代育成に共に取り組む経営者ネットワークを発足させたり、20代社会人が参加できる「次世代社会イノベータープログラム」なども開始しました。2009年度も、志を持った多様な人々が集い新たなイノベーションが生まれるべく、ETIC.を発展させていく予定です。今後もご支援、ご参画のほどよろしくお願い申し上げます。

ETIC. ヒストリー

- 1993年** 早稲田大学にて、起業家を目指す学生が集まり、勉強会としてスタート
- 1994年3月** 起業を志す大学生を中心に「学生アントレプレナー連絡会議」発足。年間60回以上の起業支援勉強会を開催
- 1997年3月** 日本初のベンチャーでの長期実践型インターン「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム」開始
- 1997年6月** 事務局機能の拡大に伴い、事務局の名称を「ETIC. (エティック)」に統一。学生団体からNPO事業体へ移行
- 1999年4月** インターンシップにおける大学との協働や講演活動を開始（早稲田大学と中央大学など）
- 1999年8月** 社会的課題に挑む起業家のトークセッション&交流会「cafe～挑戦者たちが集う真夏のタベ～」第1回開催
- 2000年3月** 経済企画庁（現内閣府）よりNPO法人（特定非営利活動法人）認証
- 2001年12月** 社会的課題に挑戦する起業家を支援するため「ETIC. ソーシャル・ベンチャー・センター」を設立
- 2002年4月** 日本初のソーシャル・ベンチャーのビジネスプラン・コンテスト「STYLE2002」開催
- 2002年6月** 日本初のソーシャル・アントレプレナー育成プログラム「NEC学生NPO起業塾」開始（現在はNEC社会起業塾）
- 2004年4月** 挑戦の連鎖を広げる「チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト」を経済産業省委託事業として開始
- 2004年4月** 早稲田大学・横浜国立大学・高知大学との事業連携、愛媛県での地域連携が本格的に開始
- 2005年3月** 第1回「チャレコミ全国フォーラム」開催、全国から地域のプロデューサー等200名が参加
- 2005年10月** 『好きなまちで仕事を創る-Address the Smile』を出版
- 2006年1月** 「第一回JNB新事業創出大賞 経済産業省大臣賞」受賞
- 2006年10月** 全国のインターンシップ検索サイト「PROJECT INDEX」をOPEN
- 2007年8月** 「第1回 個別プロジェクト・経営相談会」を開催
- 2007年8月** インターン生の成長を加速させるイベント「STARTLINE」「GEAR CHANGE」「CROSSROAD」開始
- 2007年9月** インターンOBOGが教授となり現役インターン生を指導するコミュニティ『プロフェッショナルゼミ』開始
- 2007年9月** インターンシップ参加学生が2000名、そのうち起業家・経営者となった卒業生が累計120名突破
- 2008年2月** ベンチャー企業が連携して社会起業家を支援する「イノベーション・グラント」開始
- 2008年3月** 東海地域の起業家を支援する「東海若手起業塾」開始（協賛：ブラザー工業）
- 2008年9月** 全国から集まった長期実践型インターンのプロジェクトを表彰する「第1回 地域若手チャレンジ大賞」開催
- 2008年11月** 弥生株式会社との連携講座「弥生起業会計塾」開始
- 2009年5月** NEC社会起業塾、横浜市との連携開始
- 2009年6月** 「次世代社会イノベータープログラム」第一期生 募集開始

事業概要・組織図



団体概要

団体名称：特定非営利活動法人エティック
設立：1993年
法人化：2000年3月
役員：代表理事 宮城治男
 理事 孫泰蔵（アジアングループ株式会社代表取締役）
 理事 佐藤真久（財団法人ユネスコ・アジア文化センター）
 監事 松田修一（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）

スタッフ：50名（専従18名） ※2009年8月現在
所在地：〒150-0041 渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMIビル4階
連絡先：TEL：03-5784-2115 FAX：03-5784-2116

